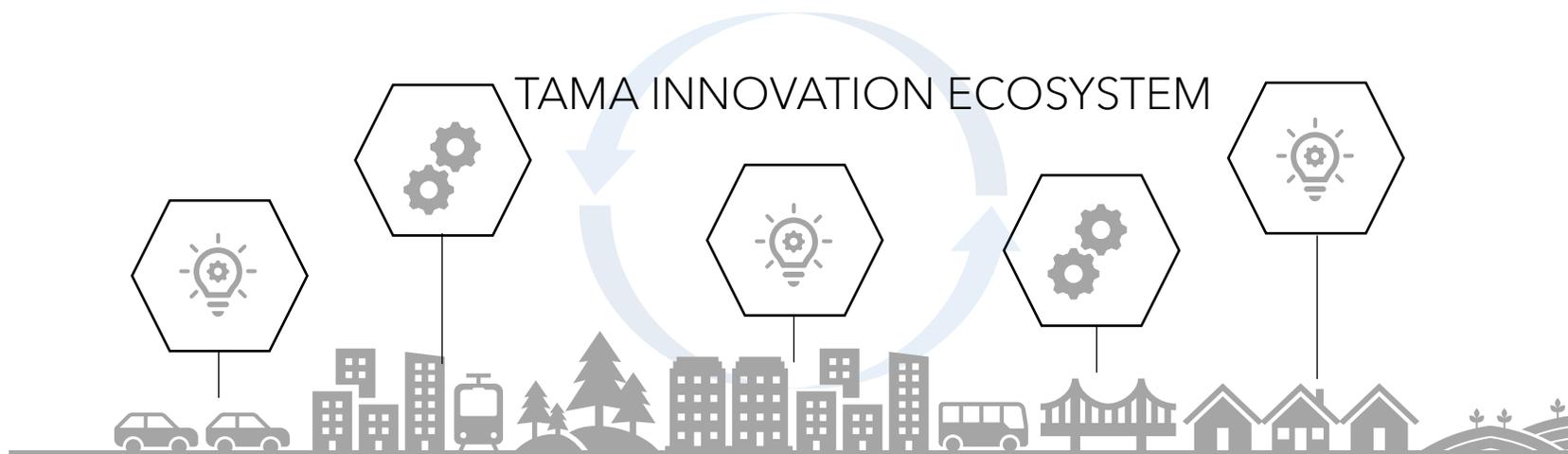


多摩イノベーションエコシステム促進事業 これまでの取組・成果と今後の取組の方向性



多摩イノベーションエコシステム実行委員会
令和7年3月

1.イノベーションエコシステム形成に向けた これまでの取組・成果

1.多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組・成果（1/2）

概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外や国内における先進事例の分析を踏まえると、イノベーションエコシステムに必要な要素は5つに整理できる ✓ イノベーションエコシステム形成に必要な5つの要素を軸として、これまでに、多摩イノベーションエコシステム実行委員会による取組を含め、多摩地域におけるイノベーション創出の活性化に向けた様々な取組が推進されてきた
-----------	---

エコシステム形成要素	これまでの主な取組	成果
<p style="text-align: center;">① リソース</p> <p>イノベーション創出を担うプレイヤーがエリア内に参入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩地域のイノベーション創出を担う新たなプレイヤーを発掘し、隠れた技術や事業内容を発信することで、プロジェクト組成等への参画を促進することを目的とした取組を実施 ■ 主に、中小企業、スタートアップのほか、大学・研究機関など、（多摩地域に限らず、区部や都外近隣の企業等も含む）を対象にヒアリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩地域内外における幅広いプレイヤーを対象にヒアリングを実施 ■ コミュニティ立上げ以降、約半年で100会員以上が入会し、令和6年度時点では360会員以上が参画
<p style="text-align: center;">② 場の構築</p> <p>エリアに立地するプレイヤーが集う場所・コミュニティを構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩地域は様々な産業支援機関が立地しており、企業の成長段階に応じた支援メニューが充実 ■ 新たなエコシステム形成を支援する場として、令和4年度に八王子市の中心部に大型イベントも開催可能なコンベンション施設として「東京たま未来メッセ」が、令和5年度に多摩地域のイノベーションを支援するハブとして「オープンイノベーションフィールド多摩（八王子館・国分寺館）」がオープン ■ 多様なプレイヤーが交流する場として、令和4年度に「多摩イノベーションコミュニティ」を設立 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ものづくり中小企業やスタートアップ企業による開発の促進及び幅広い分野の新事業創出、企業間の連携を促す、セミナー開催や場の提供を推進
<p style="text-align: center;">③ ネットワーク形成</p> <p>産学官金の交流・連携を促すリレーションを形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩イノベーションエコシステムのコミュニティ活動を通じて、幅広い事業者にとって参加しやすい交流機会の創出やプロジェクト創出に向けた機運醸成のためのワークショップ等のイベントを企画・提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域プレイヤー・自治体・大学等と連携したワークショップ・マッチング支援を、毎年、数百名規模の参加者を対象に実施

1.多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組・成果（2/2）

概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外や国内における先進事例の分析を踏まえると、イノベーションエコシステムに必要な要素は5つに整理できる ✓ イノベーションエコシステム形成に必要な5つの要素を軸として、これまでに、多摩イノベーションエコシステム実行委員会による取組を含め、多摩地域におけるイノベーション創出の活性化に向けた様々な取組が推進されてきた
-----------	---

エコシステム形成要素	これまでの主な取組	成果
<p style="text-align: center;">④ ビジネス プロデュース</p> <p>オープンイノベーションの取組を促し、新事業創出に向けて支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティで創出された優れたアイデアを選定し、具体化に向けた成長を支援する「アイデア具現化支援」、多摩地域のイノベーションの素地を形成するためのアドバルーンとなる成功事例「リーディングプロジェクト」の創出・支援を通じて、PoC実施や社会実装に向けた計画策定支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和4年度～6年度において、計35件のプロジェクトが多摩地域においてPoC実施を実現 ■ 取組を通じて、コミュニティで創出されたアイデアがPoC、社会実装支援に繋がる事例を多数創出
<p style="text-align: center;">⑤ 情報発信</p> <p>エリア内外に向け幅広く取組を発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ WEBサイトの運営を通じて、リーディングプロジェクトの取組や成果、多摩地域の企業の魅力を対外的に発信 ■ 多摩地域でのイノベーション創出への関心向上及び企業の魅力発信に寄与するイベント・広報活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多摩地域向け・区部向け・住民巻き込み型の各種イベントを実施し、多摩地域におけるイノベーション機運を醸成 ■ 展示会出展やたま未来・産業フェアでの取組紹介を通じて、積極的な情報発信を実施

2.これまでの取組・成果を踏まえた現状及び 今後の取組の方向性

2-1.多摩地域におけるリソース

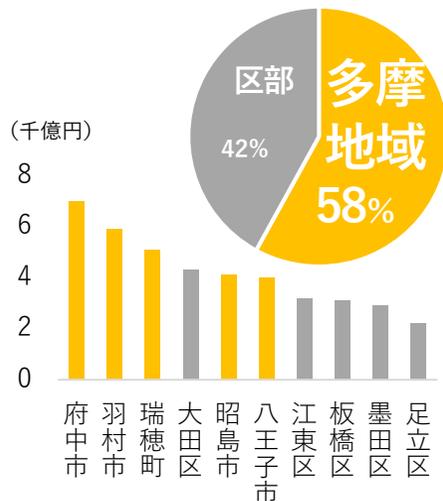
概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 多摩地域には高い技術力を有する中小企業や大学などが多く立地しており、設立したコミュニティの会員も順調に増加している ✓ スタートアップの数やスタートアップへの投資額は依然として少ない。新たなプレイヤーの掘り起こしのため、地域内外へのより一層の働きかけが必要である
-----------	--

現状

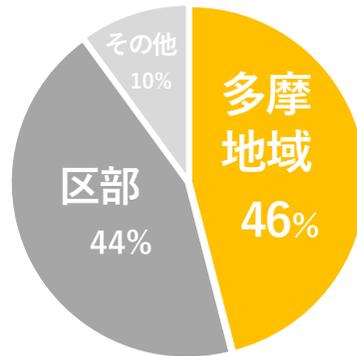
- ✓ 多摩地域には高い技術力を有する中小企業が集積しており(図1)、大学も多く立地している
- ✓ 令和4年度に設立した「多摩イノベーションコミュニティ」には、令和6年度末時点で**360会員以上**が参画し、**約半数が多摩地域の企業**(図2)
- ✓ 一方、区部と比較すると、多摩地域に所在する**スタートアップ数**や**投資額**は依然として**少ない**(図3、4)

多摩地域でのイノベーション創出に向けて、**新たなプレイヤーの掘り起こし**のため、**地域内外へのより一層の働きかけ**が必要である

(図1) 区市町村別出荷額 (2020年時点)



(図2) コミュニティ会員企業の所在地



(図3*) 多摩地域と東京都全体のスタートアップ数

地域	2021	2024
多摩地域	118	204
東京都全体	4,894	8,075

(図4*) 多摩地域スタートアップの調達額と東京都全体スタートアップの調達額 (百万円)

地域	2021	2024
多摩地域	29,668	31,508
東京都全体	3,152,700	5,188,200

出典：「INITIAL」 <https://initial.inc/> (2025年3月時点データ) 等を元を作成
 *スタートアップ数：2009年以降設立かつ継続中の未公開企業数
 *調達額：
 ①多摩地域=INITIALデータより、設立以降の総調達額を元に算出
 ②東京都全体=「Japan Startup finance」レポートより2009-2024年の累計を算出

2-2.多摩地域における場の構築

概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 多摩地域では、産業支援機関による支援が充実しており、交流できる「場」としてのコミュニティも設立されるなど、中小企業のニーズに一定程度寄与できている ✓ 引き続きマッチング機会等のサポートを求める声もあり、コミュニティの更なる活性化が必要である
----	--

現状

- ✓ 多摩地域には様々な産業支援機関が立地しており、新たに複数の施設がオープンするなど、企業の成長段階に応じた支援メニューが充実（図1）
- ✓ 企業や大学等が集まり、個々の技術やアイデアを持ち合わせ、イノベーション創出に向けて相互に交流できる「場」として「多摩イノベーションコミュニティ」を設立
- ✓ コミュニティ会員企業の7割が、直近数年において支援の充実を実感しており、企業の支援ニーズに一定程度寄与できているが（図2）、引き続きマッチング機会等のサポートを求める声もある（図3）

多摩イノベーションコミュニティの更なる活性化が必要である

（図1）多摩地域の産業支援施設

たま未来メッセ：R4年度オープン

OiF多摩（国分寺館、八王子館）

：R5年度オープン



TOKYO創業ステーションTAMA

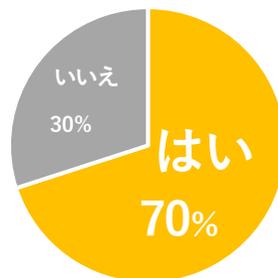


産業サポートスクエア・TAMA



（図2）コミュニティ会員企業への支援充足度

Q.「直近3～4年間で支援・サポートは手厚くなったと感じますか」*1



（図3）今後支援機関からどのようなサポートが必要か*2



出典：各支援機関の公式HPより作成、図2,3事務局実施のアンケートをもとに作成

*1 コミュニティ会員のうち、産業支援機関と関わりがある企業を対象に調査
*2 アンケート自由記述形式の回答結果を元に分類

2-3.多摩地域におけるネットワーク形成

概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コミュニティにおける連携機会の提供やWS、イベント等の企画による後押しもあり、社外ネットワーク形成に取り組む企業の割合は増加している ✓ ネットワークを活かし、事業拡大・新規参入を図るには、多摩地域内外の多様な事業や主体との連携促進が必要である
----	--

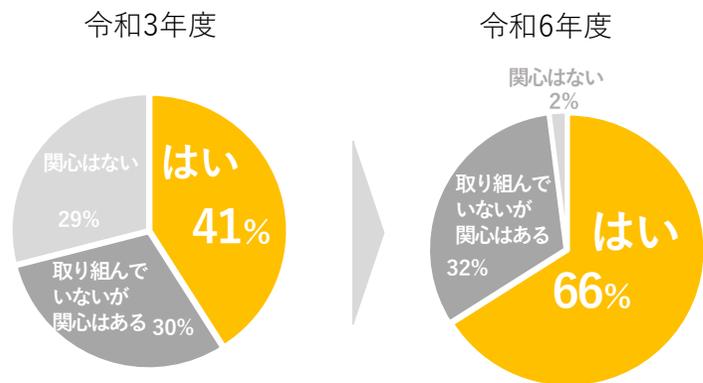
現状

- ✓ コミュニティでは、幅広い事業者との**連携機会**や**プロジェクト創出のためのワークショップやイベント等**を企画・提供
- ✓ **社外ネットワーク形成**に取り組む企業の割合は、約**6割強**まで増加（図1）
- ✓ 社外連携を希望する理由としては、**既存事業の拡大や新規分野への参入**などが上位に挙がり、希望する連携先として、**自治体・大企業**が多い（図2、3）

ネットワークを生かした**ビジネス創出**のためには、**多摩地域内外の事業や主体との連携促進**が必要である

（図1）多摩地域のネットワーク形成状況

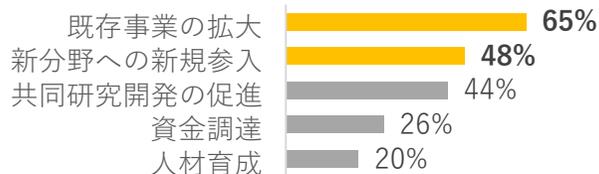
Q.「社外ネットワーク形成に取り組んでいますか」



出典：事務局実施のアンケートをもとに作成

（図2、3）コミュニティ会員の連携ニーズ

Q.「連携を希望する理由やニーズについてご回答ください」



Q.「希望する連携先の 카테고리についてご回答ください」
※上位5つ



出典：事務局実施のアンケートをもとに作成

2-4.多摩地域におけるビジネスプロデュース

概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 社外企業との事業創出を促す支援を実施し、連携に取り組む企業の割合は増加している ✓ 引き続き多摩地域・コミュニティ発のビジネスプロデュースに取り組むと共に、技術面などに関する支援が必要である
----	--

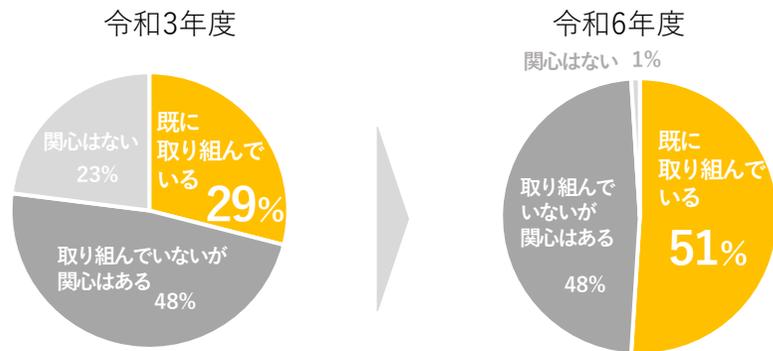
現状

- ✓ 多摩地域におけるイノベーション創出の好事例を目指し、複数企業等が連携して取り組む「リーディングプロジェクト」、コミュニティを中心に優れたビジネスアイデアを選定し、成長を支援する「ビジネスアイデア具現化支援」を実施
- ✓ 社外連携によるビジネス創出に既に取り組んでいると答えた企業は、約5割まで増加(図1)
- ✓ 社外連携に向けて発信・収集したい情報として最も多かったのは、技術等の特徴や強みについてである(図2)

引き続き、多摩地域・コミュニティ発のビジネスプロデュースに取り組み、イノベーションの創出を促進するとともに、技術面などに関する支援の実施が必要である

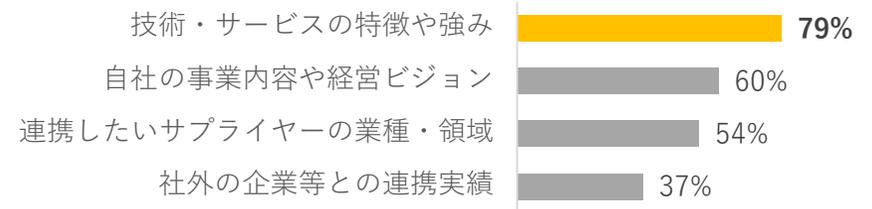
(図1)社外連携による事業創出への取組状況

Q.「社外企業との連携による事業創出に取り組んでいますか」



(図2)社外連携に向けて発信・収集したい情報

Q.「新たな社外の連携先の発掘・検討に向けて、自社の情報を社外に発信する場合もしくは他社の情報を収集したい場合、こういった情報が望ましいかご回答ください。」(複数選択可)



2-5.多摩地域における情報発信

概要	<ul style="list-style-type: none">✓ 積極的な情報発信により、多摩の地域課題解決に関心がある企業の割合は増加しているが、依然として課題も抱えている✓ 引き続き情報発信を効果的に行い、国内外への進出も支援することで、企業や大学等との連携やイノベーション創出を促進することが必要である
----	--

現状

- ✓ WEBサイトの運営や展示会出展、たま未来・産業フェアでの取り組み紹介等を通じて、当事業の取組や多摩地域の企業の魅力を積極的に情報発信
- ✓ 多摩地域における地域課題解決・地域貢献に関心がある企業の割合は増加(図1)
- ✓ 企業が情報発信について抱える課題として、自社の強みを上手くアピールできていない、情報発信力、営業力不足といった声が聞かれた(図2)

引き続き多様な手法により情報発信を効果的に行い、国内外への進出も支援することで、企業や大学等との連携やイノベーション創出を促進することが必要である

(図1)多摩地域における地域課題解決への関心状況

Q.「多摩地域における地域課題解決・地域貢献に関心がありますか」



出典：事務局実施のアンケートをもとに作成

(図2)情報発信について企業が抱える課題

情報発信における課題（ヒアリング結果）

自社の強みや優位性を外部に対して、**上手くアピールできていない**

会社や製品・サービスの認知度が低く、**情報発信力や営業力が不足**していると感じる

多摩地域内でのネットワークが弱い状況にあるので、**コミュニティにおけるイベントやワークショップに関する情報**が知りたい

自社の取り組みを**アピールできる場**が欲しい

出典：事務局実施のヒアリングをもとに作成

2-6.多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組の方向性

概要	<ul style="list-style-type: none"> 多摩地域の現状を踏まえると、まだ5つの要素を充足できておらず、イノベーションエコシステムの形成に向けて、不足する要素を補っていくための取組を行う必要がある
-----------	---

多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けて

現状

①リソース	②場の構築	③ネットワーク	④ビジネスプロデュース	⑤情報発信
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業や大学・研究機関等が集積 コミュニティ会員は360超 SUやSUへの投資額は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の充実 「多摩イノベーションコミュニティ」の設立 マッチング機会等の引き続きの要望 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ主催のWS・イベント開催 ネットワーク形成に取り組む企業の増 企業は自治体・大企業等との連携を希望 	<ul style="list-style-type: none"> 「リーディングプロジェクト」等の実施 社外連携しビジネス創出に取り組む企業の増 技術面での支援の必要 	<ul style="list-style-type: none"> WEBサイト、展示会等での情報発信 多摩地域での課題解決、地域貢献への関心の増 依然として課題を抱える企業の存在

取組の方向性

新たなプレイヤーの掘り起こし	多摩イノベーションコミュニティの設立	リーディングプロジェクトの実施		Webサイト等の活用
多摩や区部でのイベントの開催				
地域内外のプレイヤーへのより一層の働きかけ	コミュニティの更なる活性化	多摩地域内外の事業や主体との連携促進	コミュニティ発イノベーション創出の促進・技術支援の実施	国内外への進出支援

将来像

<ul style="list-style-type: none"> 不足するプレイヤーを国内外から呼び込み、必要なリソースを充足 	<ul style="list-style-type: none"> イノベーション創出に向けて、プレイヤーが自発的に連携・協業を行うための場所・コミュニティの確立 	<ul style="list-style-type: none"> 取組を通じて様々なプレイヤーを呼び込み 新たな取組に向けて多摩地域外も含めたネットワーク形成 	<ul style="list-style-type: none"> 好事例を発信し、参考としてもらうことで、新事業創出を促進 イノベーションを創出し、地域や企業の課題を解決 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な手法により発信を行い、国内外の企業等の連携やイノベーション創出を促進
---	---	--	---	--